

# 泉南市教育委員会令和2年第1回定例会会議録

## (1) 日時・場所

令和2年1月21日(火)  
午後3時00分 開会 午後4時25分 閉会  
泉南市埋蔵文化財センター 講堂兼視聴覚室において

## (2) 教育委員会出席者

古川 聖登	教育長
片木 哲男	教育委員会委員(教育長職務代理者)
藪内 進	教育委員会委員
柳澤 泰志	教育委員会委員
太田 淳子	教育委員会委員

## (3) 事務局出席者の職氏名

岡田 直樹	教育部長
稲垣 豊司	教育部参与
阪上 浩之	教育部次長兼人権教育課長
桐岡 秀明	教育総務課長
岩崎 誠	学務課長
新納 孝啓	指導課長
西本 隆志	生涯学習課長
岡坂 吾一	文化振興課長
山口 雅美	生涯学習課参事(青少年センター館長)

## (4) 休憩・遅刻等について

## (5) 会議録署名者の氏名

古川 聖登  
柳澤 泰志

泉南市教育委員会 令和2年第1回定例会 議事日程

令和2年1月21日(火) 午後3時00分 開会

泉南市埋蔵文化財センター 講堂兼視聴覚室

日程番号	議案等の番号	件名
日程第1		開 会 会議録の承認
日程第2		会議録署名者の指名
日程第3	報告第1号	教育長報告
日程第4	報告第2号	事務局報告 (1) 泉南市教育振興基本計画(素案)のパブリックコメントについて (2) 泉南市小中学校問題行動 (平成31年4月～令和元年12月)について
日程第5	議案第1号	令和元年度大阪府泉南市一般会計補正予算に係る要求(案)(教育委員会所管分)について  その他 (1) 令和2年成人記念祭(開催報告)について (2) 東京2020オリンピック聖火リレーサポートランナーについて (3) 学級閉鎖の状況について (4) 「体力づくり優良校」の表彰について (5) せんなん子ども会議の活動について

### 午後3時00分開会

○古川教育長 ただいまから、泉南市教育委員会令和2年第1回定例会を開催いたします。全員御出席いただいておりますので、定足数に達しておりますので、会議は適法に成立いたしました。

これより、日程に入ります。

日程第1、会議録の承認についてお諮りいたします。令和元年第12回定例会会議録は、既に案として委員の皆様へ配付いたしており、確認いただいておりますので、原案のとおり承認することに御異議ございませんか。

全員異議なしと認めます。

よって、令和元年第12回定例会会議録は承認することに決定いたしました。

次に日程第2、会議録署名者の指名を行います。本日の会議録署名者は、教育委員会会議規則第12条第2項により、教育長のほかに教育長において柳澤委員を指名いたします。

次に日程第3、報告第1号、教育長報告を議題といたします。

令和2年があげました。本年も何とぞよろしく願います。ことしは泉南市市制50周年の記念すべき年になります。泉南市の教育が劇的によくなる、私はそう信じております。

現在、来年度4月からの予算の折衝を財政当局と行っておりますが、国のJETプログラムを活用した国際化教育、英語教育の強化に関しまして、予定どおり27人を

しょうへい招聘する方向で固まりつつあります。また、教員の研修費やプログラミング教育に使用できるロボット教材、ICT環境の整備、学校への携帯電話機の導入なども進んでいくと期待しております。

前回12月の定例会以降の主な動きを報告させていただきます。一丘小学校が「体

力づくり優良校」として大阪府から表彰されることになりました。また、一丘小学校と信達小学校が、大阪府の「おおさか子どもEKIDEN大会」の出場を勝ち取りました。子どもたちは本当に元気です。

また、1月12日に開催した成人記念祭では、参加対象者のうち、70%を超える500人以上の若者が文化ホールを埋め尽くしました。青少年指導員協議会などの御協力によりまして、心配されていたトラブルもなく、無事に終了いたしました。中でも代表で新成人の主張を述べた柳澤君の凛とした姿に感動を禁じ得ませんでした。泉南市の未来は明るいと感じた次第です。

また、泉南地区や大阪府の教育長協議会が開催されましたが、その主な議題は、GIGAスクール構想による一人一台のパソコンの整備についてです。国は子どもにパソコンを持たせることが教育上意義があると力説しておりまして、十分な予算措置をしているので自治体としても対応してほしいと説明をしておりましたが、各自治体ともに整備に苦慮しておられる様子でございました。本市でも現在この件の予算について財政当局と協議しているところです。

最後に、この3学期から、午後7時以降の電話対応等につきまして始まっております。それからスマートフォン等取扱いガイドラインなどの改革も始まっております。改革には戸惑いがつきものですので、学校現場の御意見を丁寧に聞いて、対応してまいりたいと考えております。

ことしの泉南市の教育は、いつの年もそうですけれども私たち教育委員会5人の心を一つにしまして、勢いよく本日からスタートして、関係者広がっていくような年にしてまいりたいと思っている次第でございます。本日はそのような勢いのある会にできればと思っている次第です。

私からは以上です。

ただいまの報告に対し、御質問・御意見等はございませんでしょうか。

ないようですので、以上で本報告を終了いたします。

次に、日程第4、報告第2号、事務局報告を議題といたします。桐岡教育総務課長から、泉南市教育振興基本計画（素案）のパブリックコメントについて、報告をお願いします。

桐岡教育総務課長。

○桐岡教育総務課長 泉南市教育振興基本計画（素案）に関するパブリックコメントの実施について報告させていただきます。

新たに、令和2年4月から施行します泉南市教育振興基本計画につきましては、教育大綱の第2次に沿いまして新たな素案を作成し、現在パブリックコメントを実施しております。

パブリックコメントにつきましては、1月15日から2月14日までの約1か月間実施しております。今後は、市民の方からいただいた意見に対する回答を作成し、公表した上で中身を再精査いたしまして、改めて教育振興基本計画（案）といたしまして2月の教育委員会定例会で報告する予定となっております。

パブリックコメントの実施につきましては、以上でございます。

○古川教育長 ただいまの報告に対し、御質問・御意見等はございませんか。

私から少し補足させていただきますと、教育大綱というものがございましたけれども、それと内容が重なる部分がございます。特に14ページ以降、黒丸が打ってある部分が具体的施策と書いてありますけれども、この上の部分は教育大綱とほぼ同じ項目立て、内容です。基本方針の末尾に、指標があります。これはできるだけ頑張ろうでは

なくて、こういうところを目指して、3年経った後にはこのような状態になっているというようなことをしっかりとチェックしながら進んでいくというような内容にあります。もし、お読みになってお気づきの点等ございましたら、あるいは御質問でも結構ですのでいただければと存じます。

御意見等ございませんでしょうか。

よろしいですか。

それでは、次に新納指導課長から、泉南市小中学校問題行動について、報告をお願いします。

新納指導課長。

○新納指導課長 私から2学期末時点での問題行動等の報告をさせていただきます。

まずは一番左側の暴力行為等ですが、特に生徒間暴力が小学校で13件、中学校で41件、合わせて54件ございまして、目立つ状態になっています。特に中学1年生で繰り返し暴力行為があったという事案がございまして、件数につきましては、それが累積しているという状況がございまして、家庭、関係機関とも連携した指導を粘り強くしていただいて、2学期の後半に少しおさまってきたと聞いております。喫煙指導についても、同じ生徒の問題行動が目立ってしまっているという状況です。

それから、いじめにつきましては引き続き、積極的な認知ということで学期に1回いじめアンケートを実施していただいて、学校で認知していただくという指導をしています。小学校は発生件数が少なくなっているんですけども、中学校はあまり変わらないところです。なお、1学期から、継続して指導している事象はほとんどございません。大体解消しているという状況になっています。

長期欠席についてですが、特に中学校で昨年と比べてふえている傾向がございまして、

全体の数は減っているんですが長期欠席が少しずつふえています。子どもの置かれている家庭環境によっては、学校の働きかけがうまくいかなかったり、働きかけ自体も受け入れてもらえないような事象もございます。また、そういった難しいケースが小学校で出てきているところもございまして、長期欠席や不登校への対応についてはだんだん難しくなっているという傾向が見えてきております。スクールソーシャルワーカーと学校との連携を深めていって、そういう背景の部分をしっかりを見立てをした上で対応を進めていけるように研修会を進めていながら体制を整えていきたいと考えているところです。

簡単ですけれども、以上になります。

○古川教育長 ただいまの報告に対し、御質問・御意見等はございませんか。

柳澤委員。

○柳澤委員 生徒間暴力、それから器物破損、喫煙が、昨年と比べてかなり数がふえているんですけれども、これは中学校4校全体でふえているのか、それとも特定の学校でふえているのかお聞かせ願えますでしょうか。

○古川教育長 新納指導課長。

○新納指導課長 特定の学校が目立ってふえています。当初、学校も指導に苦戦していたのですが、関係機関とうまく連携した指導ができるようになってまいりまして、ある程度抑えが効き始めているという状態にはなっています。

以上です。

○古川教育長 ほかにございますか。

片木委員。

○片木委員 昨年との比較が示されているわけですが、これは同時期の比較というように理解していいのでしょうか。

○古川教育長 新納指導課長。

○新納指導課長 同じです。2学期終わり時点での数字を比較のために入れております。

○古川教育長 片木委員。

○片木委員 長期欠席の146名という数字についてですが、先ほどの教育振興基本計画の3ページに生徒数の推移が示されています。令和元年度の中学校の生徒が1,741名ということで、それに対して88名というのは割合から言いますと、多くなっているという印象を受けました。これは10%を超えてしまうようなことになると非常に危機的な状況になるかと思えます。他の自治体では、ある一定の限度を超えた段階で、学校に来るよという指導ではなく、フリースクールのような形で対応していこうという動きがあります。泉南市につきまして、ことしの5%は、かなり多いという印象を受けるんですけれども、そういったものに対して今どういうふうにお考えでしょうか。

○古川教育長 新納指導課長。

○新納指導課長 私どものほうで運営している適応指導教室「つばさ」がございまして。ただ、今年度「つばさ」に入級している子どもは多くはありません。4名だけなんですけれども、4名のうち毎日通ってきているのはお二人ぐらいだったりします。長期欠席の子どもを「つばさ」でうまく対応できているかということ、必ずしも数字で

はそうになっていないのが現状です。

民間等で運営しているフリースクール等もございます。そういうようなところで学ぶ機会があったり、社会との接点を持てるというのであれば、支援していきたいと考えております。しかし残念ながら泉南市の近くでフリースクール等があまりないというのが実情です。フリースクール等に通う子どもがいれば、学校と連携をとりながら子どもの支援につながるような形で連携はとっていきたいと考えています。

○古川教育長 ほかに御質問等ございませんか。

太田委員。

○太田委員 長期欠席の子どもたちの中学校を卒業した後の進路は、どういうところに進まれているのでしょうか。

○古川教育長 新納指導課長。

○新納指導課長 「つばさ」に来てくんだり、学校の先生とある程度会えて進路指導ができる子どもだと、単位制の高校などに進まれる子どもが多いです。一方で、なかなか進路指導ができない子どもについては進路が未定なままで卒業してしまう場合も、少ないのですがあります。未定になってしまいますと、その後の情報もなかなか入ってきません。ひきこもりと言われるような状態になっていく可能性があるというふうに我々も心配しますので、できるだけ単位制高校という進路につなげていくという指導をしますし、学校がしている指導をこちらからもサポートさせてもらうようにはしています。

○古川教育長 ほかにございますか。

それでは、ないようですので、以上で本

報告を終了いたします。

次に、日程第5、議案第1号、令和元年度大阪府泉南市一般会計補正予算に係る要求(案)(教育委員会所管分)についてを議題といたします。

本議案の説明を桐岡教育総務課長からお願いします。

桐岡教育総務課長。

○桐岡教育総務課長 それでは、議案第1号、令和元年度大阪府泉南市一般会計補正予算に係る要求(案)(教育委員会所管分)について、説明させていただきます。

まず、資料を1枚めくっていただきますと、各課の総括表を載せております。

まず今回、教育総務課が歳入が0、歳出がマイナス599万6,000円です。続きまして、生涯学習課、歳入がマイナス897万1,000円、歳出がマイナス600万円です。文化振興課、歳入が30万円、歳出が0です。学務課が歳入38万6,000円、歳出がマイナス682万円となっております。全ての合計が、歳入がマイナス828万5,000円、歳出がマイナス1,881万6,000円となっております。

各課の詳細につきましては、次のページをごらんください。

まず教育総務課、歳出が3件ございます。一件目、プール施設費の施設等修繕料がマイナス58万4,000円です。これは学校プール施設の修繕料を減額するものでございます。その理由は、今年度使用した学校の3プール、信達小学校、西信達小学校、砂川小学校の修繕料について、当初の見込みより減少したためとなっております。

二件目、同じくプール施設費の委託料が、マイナス41万2,000円です。これは学校プール施設の清掃委託料と管理業務委託料を減額するものでございます。その理由は、同じく今年度使用した三つの学校プールに

係る清掃業務委託に伴う見積もり合わせと、プール管理委託契約に伴う指名競争入札を実施した結果、落札による減額が生じたためとなっております。

三件目、中学校給食費の委託料が、マイナス 500 万円です。これは中学校給食の調理業務委託料の減額となっております。その理由は、喫食対象、生徒、教員、検食、予備食、保存食が行事の増加に伴い、当初の見込みより減少したため、また、予定喫食回数に満たない学校もあったためとなっております。

ページ変わりますして、生涯学習課、歳入が四件ございます。一件目、教育費の国庫補助金のうち、子ども・子育て支援交付金がマイナス 355 万円です。これは当初予定しておりました国の子ども・子育て支援交付金を減額するものでございます。その理由は、当初予算より補助対象金額が減ったためとなっております。

二件目、同じく教育費の府の補助金、子ども・子育て支援交付金がマイナス 355 万円です。これも当初予定しておりました大阪府の子ども・子育て支援交付金を減額するものでございます。その理由は、当初予算より補助対象金額が減ったためとなっております。

三件目、留守家庭児童会費がマイナス 330 万円です。これは留守家庭児童会費を減額するものでございます。その理由は本年度 11 月末までの実績によりまして、当初予算額より減額を見込むためとなっております。

四件目、社会教育費補助金が 142 万 9,000 円です。これは大阪府新子育て支援交付金を新たに計上するものでございます。その理由は、夏休み実施予定の子ども遊び広場（子どもの居場所づくり事業）が交付金の対象となるため計上しております。

それから、歳出につきましては、一件ご

ざいます。留守家庭児童会運営事業の賃金がマイナス 600 万円です。これは留守家庭児童会のアルバイト賃金を減額するものでございます。その理由は、留守家庭児童会の臨時職員の賃金につきまして、本年度 11 月末までの実績から当初の想定よりも利用人数が少なく、当初予算額より減額が見込めるためとなっております。

ページ変わりますして、文化振興課で、歳入が一件ございます。社会教育費の補助金が 30 万円です。これは大阪府新子育て支援交付金を新たに計上するものでございます。その理由は、夏休み実施の子ども遊び広場（子どもの居場所づくり事業）が交付金の対象となるため計上しております。

最後に学務課、歳入が二件ございます。

まず一件目が子ども子育て交付金が 19 万 3,000 円です。これは一時預かり事業に取り組みまして、子育て支援の推進を図る民間幼稚園に対する国からの補助金を増額するものでございます。その理由は、預かり保育利用者が想定数を大きく下回ったことにより、1 回あたりの利用基本単価が高くなったためとなっております。

二件目、子ども子育て交付金が 19 万 3,000 円です。これも一時預かり事業の取組に関連しまして、子育て支援の推進を図る民間幼稚園に対する大阪府からの補助金を増額するものでございます。その理由は、預かり保育利用者が想定数を大きく下回ったことにより、1 回あたりの利用基本単価が高くなったためとなっております。

ページ変わりますして、学務課の歳出が四件あります。

一件目が、私立幼稚園支援事業のうち、負担金、補助金及び交付金が 58 万円です。これは一時預かり事業に取り組み、子育て支援の推進を図る民間幼稚園に対する補助金を増額するものでございます。その理由は、預かり保育利用者が想定数を大きく下回っ

たことによりまして、1回あたりの利用基本単価が高くなったためとしております。

二件目が、障害児介助員等配置事業の賃金がマイナス420万円です。これは介助を必要とする児童が安全かつスムーズに学校生活を送れるように配置している臨時職員、介助員の賃金を減額するものでございます。その理由は、予定する人数の採用ができなかったことなどにより、不用額が生じたためとしております。

三件目、学校園管理運営事業の賃金がマイナス320万円です。これは幼稚園において、介助を必要とする園児のために配置しております障害児加配教員に係る賃金を減額するものでございます。その理由は、年度当初、障害児加配教員の必要数の確保ができず、1名の欠員があったこと、税金や社会保険の扶養の範囲内で働きたいという方が多く、勤務時間数を調整したためとしております。

なお、学務課から追加があると聞いておりますので、説明をさせていただきます。

○古川教育長 岩崎学務課長。

○岩崎学務課長 失礼いたします。本日資料として御提示できなかったのは、昨日、幼稚園から今年度の精算等のやりとりの中で連絡があったためでございます。口頭で失礼いたします。

四件目といたしまして、私立幼稚園支援事業の費用がマイナス1,200万円となります。その理由は二つございまして、一つ目は、私立幼稚園に在籍にされる子どもの数を定員数で予算要求しておりましたが、実際のところ子どもたちの数が定員の約8割程度しか私立幼稚園に在籍されませんでした。二つ目は、さまざまな幼稚園から上がってまいります加算金を含めトータル8,000万円の申請を上げていたところ、実

際は今年度6,000万円少しの負担ということになるであろうということで、1,200万円の減額をさせていただこうと考えております。

そうしますと、私立幼稚園の支援事業につきましては、施設型給付費ということで国、大阪府からの負担金が市に入りますので、歳入額も変更しなければならぬのですが、申しわけございません。その額が今この場では幾らになるかわかりません。そちらの減額があるということで御報告させていただきます。

以上でございます。

○古川教育長 その確定の金額はいつわかりますか。

岩崎学務課長。

○岩崎学務課長 本日中に出そうと今、作業中でございます。

○古川教育長 それは私どもにはどのような形で提示されますか。

岩崎学務課長。

○岩崎学務課長 府と国に関しましては、一旦精算が終わった時点で金額が決定します。およその目安額としまして、利用した人数に対しての割合で出しますので、額としては本日中に出しているところで作業中でございます。

○古川教育長 ということは、歳出1,200万円というのは概数であって、まだ決定ではないということですか。

岩崎学務課長。

○岩崎学務課長 そうです。

○古川教育長 金額が確定しないまま、こ



ここで議決してよろしいでしょうか。

岡田教育部長。

○**岡田教育部長** 大変恐縮でございますけれども、市の補正予算の締め切りがもう迫ってきております。詳細な数値につきましては、また決まり次第追って資料を提示したいと思っておりますので、御了解賜りますようお願いいたします。

○**古川教育長** それでは、そのような前提で御議論いただきたく存じます。

生涯学習課の歳入と歳出がそれぞれマイナスという状態について、解説をいただきたいと思っておりますが、マイナスの歳入というのはそのお金がどこに行くということになるのでしょうか。

西本生涯学習課長。

○**西本生涯学習課長** これは予算の段階でするので、予算額と申請額が違いますので、お返しする額イコール 355 万円ではないんですね。もう 355 万円以下を残した形で申請しておりますので、マイナス 355 万円で申請をしております。

○**古川教育長** 藪内委員。

○**藪内委員** それは、予算を初めに立てた金額があつて、それが人口減少による子どもの数が減ってきたものだから、あらかじめ予定していた金額に達しないから減らすということですか。人口がこれぐらいあるかなと予想していたけれど、それよりはるかに下回ってきて、子どもの出生数が減ってきているから予定が大幅に狂っているという考えでいいのでしょうか。

○**古川教育長** 西本生涯学習課長。

○**西本生涯学習課長** 子どもの数が減っているといいますか、まず予算の段階では留守家庭児童会の運営費に対する補助金でございますので、留守家庭児童会の定員いっぱい、そして障害児の加配が全て入るという想定で予算立てを行います。当初予算に計上するんですけども、実際 4 月から運営しまして、加配を置いていない施設もあります。そういったところは、当然補助の対象になる費用が減りますので、実際ふたを開けるとマイナス 355 万円分でしか申請ができないということで、国に上げている予算、これが当初予算よりも国に申請額が、差額が 355 万ということで減額させていただくということになります。

○**古川教育長** だから、わかりやすく言ってほしいです。皆さん、行政職員ではないから。

岡田教育部長。

○**岡田教育部長** 子どもの絶対数が減るといっても、留守家庭児童会の定員で予算要求していて、見込みよりも利用者が少なかったということです。子どもの絶対数が減っていくという社会現象とこれとはまた別問題ということで御理解ください。

以上です。

○**古川教育長** 要するに国から入ってくる予定の金額を減額したということですね。だから、お金を返すわけでなく、一旦このぐらいもらえるという予定で今年度スタートしておりますけれども、実際はそれだけの需要がないので減額したということですね。

○**藪内委員** あくまでも予算の要求ですもんね。

○古川教育長　そうです。当初の予算ではやってみないとわからないところがございます。こういう形で調整しているということで御理解いただきたいと思います。理由については、表に書いてあるとおりでございます。そして、歳出がマイナスということをかみ砕いていただくとありがたいです。

岡田教育部長。

○岡田教育部長　歳出がマイナスというのは、単純に予算要求しておいた賃金ですけども、これを全部執行するに至らないので一部お返しますということです。当初の見込みよりも事業自体が小さいというイメージです。

○古川教育長　その分、市の予算を使わずに済んだという意味になります。そういうことを念頭に置いて、改めて中身について今、各課長から説明いたしましたけれども、その点について御質問・御意見等はございますか。

片木委員。

○片木委員　この355万円というのは、子ども何人分ぐらいの金額なのでしょう。

○古川教育長　西本生涯学習課長。

○西本生涯学習課長　かなり複雑な算式で算定おりまして、人数というのもあるんですけども、この施設に対して加配が必要なお子様を配置する場合はプラスアルファ合わせてこれだけですよというのがありませんね。そういったものが適用されない施設、10か所あるうちの5か所が多分適用されない施設だったことになったと思うんですけども、5か所分を補助金申請できないという積み上げが350万円とイメージし

ていただいたらいいので。定員に対しましては、手元に持ってきていないんですけども。

○古川教育長　片木委員。

○片木委員　概算でいいです。細かい数字は求めていませんので。

○古川教育長　西本生涯学習課長。

○西本生涯学習課長　4月当初は100%超えの施設もございます。少ないところで70%ぐらいです。ただ現段階におきましては100%超えている施設というのは1か所のみとなっております。

○古川教育長　ほかにございますか。

柳澤委員。

○柳澤委員　私立幼稚園の無償化ということになれば、大阪府の私学の高校の無償化のような形で、家庭の収入によって無償化の金額が決まるのですか。それとも全て無償化なのですか。

○古川教育長　岩崎学務課長。

○岩崎学務課長　収入は関係なく、無償化になります。幼稚園には、子育て支援法に基づいた制度にのっとっている幼稚園と、まだ未移行とって、制度に移行していない幼稚園がございます。今回の施設型給付費というのは、まだ新制度に移行されていない幼稚園が対象になります。泉南市としては保護者から保育料を徴収するのではなく、市が子どもに対しての利用料を幼稚園にお支払いするという形になっています。例えば砂川幼稚園ですと、3歳児において70名の定員に対して今年度は54名だった

ということで約2割が定員より少なかった。見積時には最大で見積もらせていただいている中で、今年度は約2割が定員より少なかったという状況でこういった形で減額しております。

○古川教育長 柳澤委員。

○柳澤委員 他の幼稚園もありますし、砂川幼稚園に定員いっぱい的人数が集中するということはないんですよね。公立のあおぞら幼稚園などもありますけれども、そういった次の入園希望者の分布の割合の影響が出てくるんですか。

○古川教育長 岩崎学務課長。

○岩崎学務課長 この予算面に関しましては、特に影響はございません。予算立てをする場合は定員いっぱい要求はしていきます。実際の数で、その都度、補正をかけていくという形ですので、入園希望者の割合によって予算が変わるということはありません。

○古川教育長 ほかに御質問・御意見はございませんか。

片木委員。

○片木委員 歳出の減額補正についてです。600万円のアルバイト賃金の減額が出ておりますけれども、これはアルバイト職員が集まらなかったために減額するのか、それとも留守家庭児童会を希望する児童が少ないため、アルバイト職員が必要でなくなったという形の減額、原因はどちらなのでしょう。

○古川教育長 西本生涯学習課長。

○西本生涯学習課長 先ほど御説明させていただいた分で、申請のときに加配というものを10か所だったら10人をカウントするんですけども、実際に加配を置いているところは5か所なので、600万円全てとは言いませんが、おおむね加配に充てていたアルバイト分が浮いてきたというところでもあります。あと、ことしから午後7時までの延長を始めましたので、その分基本的にはアルバイトを置く予定はございませんが、任期付職員がお休みするときはアルバイトの方で対応するという予定でしたが、実際利用状況が想定したよりも少なかったというところで、この分の雇用が発生しなかったというところがございます。

○古川教育長 片木委員。

○片木委員 留守家庭児童会ですが、今年度から午後7時まで延長したということで、導入する前は非常に人気があるんじゃないか、あるいは、外で働いている保護者の方々からの強い希望があるんじゃないかと思っていたのではないかと思います。しかし、実態は泉南市にとってそれほど人気のある制度ではなかったということですか。

○古川教育長 西本生涯学習課長。

○西本生涯学習課長 午後6時で完全に子どもがいないという施設もあります。午後6時以降も施設にいる子どもは、多くても3人くらいです。ほとんどの子どもが午後6時までに帰宅し、午後7時までいる子どもは一、二人です。そこに対して、指導員が二人いるという状況なので、経営面でいうとマイナスな運用という形にはなっています。

○片木委員 この時間延長は、それほど需

要はなかったんですね。

○西本生涯学習課長 この部分につきましては、実際昨年検討している中で、現場の職員や、他市の状況等も情報収集しまして、需要が少ないというのは見えていたのですが、市の施策としてやっていくんだということで、7時まで延長した次第です。

○片木委員 わかりました。

○古川教育長 つまりニーズに対応してきていないから少ないのではなくて、ニーズそのものが少ないと分析しているということですね。

一番最初に片木委員がおっしゃったのは、市民のニーズに対応しきれているのかというのが本筋の御質問かと思っているんですね。だから今、西本生涯学習課長が、指導員から事情を聞いていると回答されたように、そういうニーズを探る努力もしているということですかね。

岡田教育部長。

○岡田教育部長 昨年の春から実施した午後7時までの延長ですけれども、ニーズ把握等に努めたところ、それほどニーズはないのではないかと分析しました。実際に実行しました結果、やはりそれほど多くはなかった。その結果、見込んでいたアルバイト賃金等について、減額するという形でございます。

○片木委員 よくわかりました。

○古川教育長 ほかに御質問・御意見はございませんか。

それでは、先ほど口頭で追加された私立幼稚園の支援事業につきましては、おおよその金額でございますけれども、確定金額

は後ほどお知らせするということを約束した上で、お諮りさせていただくということでもよろしいでしょうか。

それでは、以上で質問・意見等を終了し、議案第1号を採決いたします。

お諮りいたします。

本議案を承認することに御異議ございませんか。

全員異議なしと認めます。

よって、議案第1号は承認することに決定いたしました。

次に、その他といたしまして、令和2年成人記念祭の開催報告及び東京2020オリンピック聖火リレーサポートランナーについて、西本生涯学習課長から説明をお願いします。

西本生涯学習課長。

○西本生涯学習課長 その他1、令和2年成人記念祭の開催報告をさせていただきます。まず、初めに御出席いただきました各委員におかれましては、お忙しい中まことにありがとうございます。おかげをもちまして、無事に終えることができました。本当にありがとうございます。

それでは、改めまして御報告申し上げます。前回の定例会で御報告させていただきましたとおり、本年の成人記念祭は昨年までの成人の日の開催から成人の日の前日、日曜日の午後で開催させていただきました。先ほど教育長からも報告がありましたが、対象者数が年々減っている中で、出席者数はここ数年来初めての500名超え、参加率も70.2%と予想を上回る結果となりました。昨年の参加率が61.5%、一昨年が59.1%、さらにその前年は57.3%ということでしたので、参加率自体は年々上がってきています。今回は前年比8.7%アップということで、例年にも増して伸び率が高くなりました。その要因の一つとして、今回の日程変更も

大きく影響していたのではないかと考えております。

また、今回の成人記念祭では、これまで配付を行ってきました企業協賛による記念品をやめ、そのかわりとしまして別紙のとおり、おもてなしMAPを作成し、配付を行いました。市内の飲食店等 50 店舗ほど回らせていただきまして、23 のお店に御協力をいただきました。ほとんどが 1 月末まで有効のクーポンということになっていますので、これらの利用状況についてまた 2 月上旬にお店にアンケートを行いまして、結果を分析したいと思っております。

また今回から青少年指導員協議会の皆様方にも御協力を賜りまして、また警察との連携も含め、警備を強化させていただきました。おかげをもちまして、警察への動員要請はかけましたものの大きなトラブルもなく、また昨年 3 件ありました飲酒による救急搬送、こちらも 0 件でした。さまざまな取組をした結果、トラブルの抑制につながったと考えております。この結果を受けまして、次年度以降の成人記念祭の日程については、この方向性で続けていかせていただければと考えています。施設の予約の関係もあることから、調整が整い次第御報告させていただきます。

以上、その他 1 を終わらせていただきます。

○古川教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんか。

太田委員。

○太田委員 私は出席させていただいたんですけれども、ことしはすごく落ちついていい感じだったなと思っております。一つ御質問なんですけれども、毎年午前中に開催していた気がするんですけれども、ことしは午後 2 時 30 分からになっていて、来賓の

方が何かと重なっていたので、ことしはたまたま午後 2 時 30 分になったのではと言っていたのですが、成人の方々もゆっくり着物なども着られてよかったですと思います。ことしはたまたま午後 2 時 30 分開催だったのか、これからこのように開催していくかを教えてほしいです。

○古川教育長 西本生涯学習課長。

○西本生涯学習課長 昨年の結果を受けまして、日程につきましては成人の日ではなく前日の午後に見てみたらどうだろうと検討してまいりました。なぜ午後かという、夜の二次会をされるところが多いので、二次会にそのまま出席できて、昼間に溜まって騒いでいる時間が無くなるだろうと考えたからです。また、できればクーポンに記載されているお店も使ってねという意味合いも込めまして午後開催を試みた次第です。

○太田委員 来年も引き続きそうされるのですか。

○西本生涯学習課長 できれば来年もそうさせていただければと思います。中日ですと遠方から来られる成人の方にも来ていただけて、翌日ゆっくり帰っていただけてということで、ことしはその辺でも伸び率が上がったのかなと思っています。

○古川教育長 ほかにこの件に関してございませんか。

それでは、東京 2020 オリンピック聖火リレーサポートランナーについての報告をお願いします。

○西本生涯学習課長 続きまして、その他 2、東京 2020 オリンピック聖火リレーサポートランナー募集結果について、御報告

させていただきます。ことしの4月15日の水曜日に泉佐野市をスタート地点としまして、東京オリンピックの聖火リレーが行われます。今回その聖火ランナーをサポートするサポートランナーの募集がオリンピック組織委員会からありました。泉南市はチーム泉佐野の一員として3名を選出するということになりました。その結果、資料のとおり3名のランナーを選出しましたのでお知らせいたします。

なお、対象が現在の小学四、五年生、来年度の4月に五、六年生となっています。その理由につきましては、聖火ランナーそのものへの応募が中学生以上なので、小学生にもこういったことへの参加の機会を作りたいということで決めさせていただきました。

以上、報告とさせていただきます。

○古川教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんか。

よろしいですか。

私も謹んで抽せんさせていただきました。元気に走ってくれることを期待しております。

次に、学級閉鎖の状況について、岩崎学務課長から説明をお願いします。

岩崎学務課長。

○岩崎学務課長 失礼いたします。その他3といたしまして、市内の学校園における学級閉鎖状況でございます。学級閉鎖の理由は、主にインフルエンザによるものでございます。今年度につきましては、6校で延べ6学級、学年が学級閉鎖となっております。昨年度と比較しますと、1月17日の時点で6学級というのは非常に少ない数となっております。しかし今週に入りまして、幼稚園1園と小学校1校から学級閉鎖の報告がありました。今後ふえていくのかなと

いう心配な状況ですが、現時点での御報告としてこの資料のとおりです。

今年度は初発が11月と非常に早かったものですから心配しましたが、教育長の御指示の下、手洗い・うがいの励行、それから養護教諭への周知を大阪府からいただく前に、前もって学校園に掲示等連絡させていただいているのも一つの効果だと考えてございます。

以上でございます。

○古川教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんか。

よろしいですか。

関空が近い地域なので、くれぐれもインフルエンザのみならず、手洗い・うがいの励行を徹底していただければと思います。

それでは、次に「体力づくり優良校」の表彰について、新納指導課長から説明をお願いします。

新納指導課長。

○新納指導課長 その他4といたしまして、「体力づくり優良校」の表彰について御報告します。こちらは、大阪府が体力づくりに熱心に取り組んでおられる学校を表彰するという取組です。大阪府内から数校、表彰を受けるんですけども、今年度は一丘小学校が自校の取組を大阪府に報告いたしまして、選んでいただいたというふうなところです。

また、「大阪子どもEKIDEN大会」に参加するんですけども、参加に当たって体力テストのシャトルランの成績を報告しています。大阪府内で一番の成績だったということです。一丘小学校はよく頑張っていると思います。

以上です。

○古川教育長 ただいまの説明に対し、御

質問・御意見等はございませんか。

柳澤委員。

○柳澤委員 体力づくりには関係ないのですが、ドッジボールについて質問させていただきます。ドッジボールは、子どもの遊びとしてありますが、ドッジボールを通して子どもが学ぶこともあると思います。しかし、いじめにつながると言っていて、それをしない学校がふえているということ、年末年始のテレビ番組で見たんですね。それはどうかと個人的には思うんですけども、泉南市としては、ドッジボールに関して、神経質に扱っているのでしょうか。

○古川教育長 新納指導課長。

○新納指導課長 特段、神経質にはなっていません。ただ、子どもたちは遊びの中でトラブルというのは起こりますし、いじめアンケートにもそういうようなことに対する思いを書いている子どももいると思います。それは、現場の先生方が丁寧に指導していると思います。そういうことがあるから、禁止するというふうにはしておりません。

○古川教育長 柳澤委員。

○柳澤委員 そのテレビ番組を見て、組体操の件は前から言われていますけれども、ドッジボールも、鬼ごっこであっても集団でするじゃんけんであっても標的を決めているんだとこじつけられたら、子どもたちの知恵を発揮するものなくなるのかなと思いましたが、お聞きしました。

○古川教育長 ほかに御質問・御意見等はございませんか。

それでは、次にせんなん子ども会議の活

動について、阪上教育部次長兼人権教育課長から説明をお願いします。

阪上教育部次長兼人権教育課長。

○阪上教育部次長兼人権教育課長 失礼します。その他5といたしまして、せんなん子ども会議の活動を報告します。昨年12月15日に「関西子どもの権利条約フォーラム」が大阪市内のエルおおさかで開催されました。そこで新聞記事で取り上げられた3名は、せんなん子ども会議のメンバーです。真ん中がりんくう翔南高校の浅羽さん、右側もりんくう翔南高校の直川さん、一番左が西信達中学校の久木田さん、いずれも今、せんなん子ども会議の中心メンバーとなって頑張っている子どもたちが、せんなん子ども会議のアピールをしてくれました。毎年ですが、子ども会議に関しましては、本市人権教育課の奥田と赤井が中心となって、子どもたちとともに、とにかく外に出ていこうということで、多方面で活動を展開しているということで、非常に評価をいただいています。

ページをめくってください。昨年の12月21日に、大和リースさんから、りんくう公園の防護壁の壁面絵画を依頼されました。それで子どもたちが描き上げたのがこちらの資料でございます。「みんなにやさしい公園」というものでございます。もう間もなく防護壁にこちらの絵画が掲示されます。現在のビーチにあるトイレの壁面壁画も含めて、子どもたちの活動の場が常にこういうふうには保障されているということで、本市にとっての非常に重要な子ども施策であるというふうに考えております。

以上でございます。

○古川教育長 ただいまの説明に対し、御質問・御意見等はございませんか。

太田委員。

○太田委員 泉南市子どもの権利に関する条例、せんなん子ども会議のメンバーはどれくらいいらっしゃるのですか。

○古川教育長 阪上教育部次長兼人権教育課長。

○阪上教育部次長兼人権教育課長 平成29年当初は、メンバーが4人という時期がありました。平成29年9月に4名の子どもたちと担当指導主事で会議を行いまして、それまで対象が小学校5年生以上としていたんですけれども、4年生まで広げようということになりました。手紙を書いてメンバーを募った結果、11月以降には56名も集まりました。それ以降の登録者数は、今年度も60名前後子どもたちがいます。ただ、クラブ活動が毎週土曜日なので、中学生はなかなか出られないんですけれども、大体二十数名の子どもたちが参加してくれています。

○古川教育長 そのほかにございますか。よろしいですか。

それでは、以上で本日の日程は全て終了いたしました。これまでの報告や議案のほかに御質問・御意見等はございませんか。

藪内委員。

○藪内委員 先日、新聞を読んでいて気づいたんですけれども、泉南市の教員は、若い方が多いかと思えます。国内の研修はあると思うんですけれども、海外の教育研修のようなものに参加することはないのでしょうか。

○古川教育長 阪上教育部次長兼人権教育課長。

○阪上教育部次長兼人権教育課長 ここ数年の中では海外研修はないです。研修ではないのですが、JICAの日本人学校に派遣するというのがあります。そちらに参加する先生が年々ふえています。今春も、本市の小学校教諭2名が日本人学校に派遣されることになっています。海外研修の機会があれば積極的に行かせてあげたいと思います。

教育基本振興計画の7ページに泉南市立学校教員の年齢構成ということで載せていますけれども、20代の先生方が割合としては多いです。我々教育委員会として、若いうちにさまざまな経験をさせたいと考えております。現にことしは古川教育長に来ていただいて、国の中央研修に6名参加させました。昨年の年末も指導課の指導主事の猪鹿倉を一週間派遣したりしています。今のうちに外の刺激を入れて、新しい空気と外のつながりをつくっていかうというのが、これからの泉南市の基礎体力につながるのではないかなと考えています。

○古川教育長 年度当初に泉南市教育振興3プラン「SEPP3」を作成しまして、その柱の一つが教員研修ということでございます。阪上次長から言っていたような施策を行いますとともに、学校における校内研修の充実のために教育アドバイザーを泉南市で雇用するようなことも考えておりました。うまくいけば小・中学校を回って若い先生などにアドバイスすることを兼ねた研修の充実を図りたいと考えております。

海外に行く事業そのものではありませんけれども、外国人が27人来ますので、積極的に若い先生などコミュニケーションをとっていただければ勉強になるかなと思います。

柳澤委員。

○柳澤委員 研修のような、他の方との交



流する場の中で、他のいいところを吸収するだけではなくて、逆に離れてみて泉南市のよさというのがわかって、再認識していただけたらと思います。泉南市は、空港や、海、ゴルフ場、海外のリゾート地のような資源があるにもかかわらず、その立地を生かしきれていないという課題はございますが、泉南市を誇りに思えるような先生に育ってくれたらいいなと思います。

○古川教育長 この件についてほかにございますか。

それでは、そのほかにございますか。

藪内委員。

○藪内委員 現在の泉南中学校についてですが、きれいに整地されているんですけども、これからの工事の進捗状況をお知らせ願いたいです。

○古川教育長 桐岡教育総務課長。

○桐岡教育総務課長 泉南中学校につきましては、現在外構工事等が進んでおりまして、外構工事につきましてはほぼ終わりかけております。今後、植栽工事とテニスコートを含めましてグラウンド整備工事に入ってまいります。あと、フェンスを市役所側に立てて、体育館の横にテニスコートをつくりまして、5月末に全て終わる予定になっております。今狭くなっているグラウンドも広く使えるようになってくると聞いております。

○古川教育長 そのほかにございますか。

よろしいですか。

ないようでしたら、次回、泉南市教育委員会令和2年第2回定例会の日程について、お諮りしたいと思います。原則第2火曜日ですが、そうしますと2月11日になります

けれども祝日ですので、日程について桐岡教育総務課長から提案をお願いします。

桐岡教育総務課長。

○桐岡教育総務課長 2月の定例会につきましては、先ほど御報告いたしましたとおり、教育振興基本計画のパブリックコメントが2月14日までとなっておりますので、できればその意見を踏まえて案の御説明をしたいと考えておりますので、次の週の2月17日からまずは21日までの間で調整できたらなと考えております。

(日程調整)

○古川教育長 それでは、次回の教育委員会定例会の開催日時は令和2年2月25日に予定いたします。

以上をもちまして、泉南市教育委員会令和2年第1回定例会を閉会いたします。

ありがとうございました。

署 名 ( )

( )